

ヴェリタス学習会通信62

予定表カレンダー →



令和4年5月の予定

- ・月曜日 5月2・9・16・23・30日 大安公民館1階研修室または視聴覚室 18:30～21:00
- ・水曜日 5月11・18・(25?)日 藤原文化センター2階第1研修室 18:30～21:00
- ・木曜日 5月12・19・26日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 5月6・20(・27?)日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30～21:00
5月13日 北勢福祉センター2階中会議室 18:30～21:00

5月13日(金)は、会場が中会議室になります。ご注意ください。27日(金)は定期利用者との話し合いにより、28日(土)29日(日)などの昼間に変更となることがあります。25日(水)も利用がなければ中止となる可能性があります。利用したい方は確認してください。

多くの学校で5月に中間試験が行われます。普段利用しない会場も積極的に使ってください。

5月の4・5日の祝日は会場を予約していません。必要ならば事務局を開けます。希望を聞かせてください。休日は昼間の利用も可能です。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npooveritas@gmail.com

LINE ID:m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。メールや LINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoom などの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

漢字の起源は甲骨文字という象形文字

小学校の国語の授業で習ったと思いますが、漢字は人や動物・物を描いた絵を加工して作られた文字です。中学校の歴史の授業で、甲骨文字(こうこつもじ)という用語が出てきます。亀の甲羅(こうら)や牛の骨などに



刻まれたことから、この名前が付けました。

甲骨文字は実物を描いた絵にかなり近かったのですが、時代を経るにしたがって現在の漢字の形に近づいていきました。

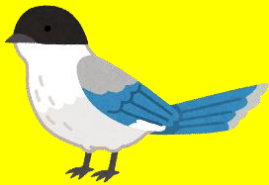
「鳥」と「島」は似ているけれど、関係あるの？

学校に通っていたころ、テストで「鳥」と「島」を書き間違えた経験はありませんが、大人になってから「島田」さんという名字（みょうじ）を「島田」さんと言い間違えたことがあります。子どものころから「島田」「嶋田」という名前の人とはたくさん出会ってきましたが、「島田」さんという方にはお会いしたことがなかったのです。知人に「島山」さんという方はいらっしゃいますが……。



「嶋（しま）」という字は、「山」と「鳥」からできています。渡り鳥が海を渡っていくときに、途中で羽を休めて憩（いこ）う海中の山が「嶋」なのです。人が住んでいないような小さな島（尖閣諸島や竹島など）に鳥がびっしり隙間（すきま）なく群れていて、まるで鳥の山のように見えたのかもしれない。その様子を見た漁師や交易船の乗組員の話の聴いて、文人か役人が「嶋」と合成したのではないかと思います。「嶋」の「山」を「4つの点」の所に置き換えて「島」とも書かれるようになります。ですから、「鳥」と「島」は大いに関係があるのです。中国の発音を基にした「音読み」では「鳥（ちょう）」「島（とう）」と発音も近いのです。

「鳥」と「隹



漢字「鳥」の先祖をたどっていくと、尻尾の長い鳥の絵にたどり着きます。「鳩（はと）」や「鶏（にわとり）」「鶴（つる）」「鴨（かも）」などは「とり」「とりへん」を使って書かれています。

もう1つ「ふるとり」という部首があります。「隹」で表される部首です。こちらも鳥の絵が起源です。しかし、尾の短いずんぐりむっくりした「とり」の絵でした。「雀（すずめ）」や「雁（かり・ガン）」は「ふるとり」が使われています。鳥の種類ではありませんが、子どもの鳥は「雛（ひな）」と書きます。どの鳥でも雛のときはずんぐりむっくりして、尾が短いすね。



しかし、時代が下るにつれて尾の長さや体形に関係なく、「鳥」「隹」が混同して使われるようになります。誰もが起源を知っているわけではないので。

「鶉（うずら）」はどう見てもずんぐりむっくりしているのですが、「鳥」が使われています。逆に「雉（きじ）」は尾が長くスマートなのに「隹」を使っています。

「隹」はむしろ、鳥ではない漢字に使われますが、実は鳥が深く関わっています。「集」は鳥が木に集まって止まっている様子です。「雑」の字の左下の「木」を「隹」の下に置いてください。「集」になりますね。「九」はもとは違う字で「衣」の意味を表していました。「衣」を染めるのに様々な染料を集めてきて混ぜます。雑多な染料が必要です。「雑」はいろいろな寄せ集めで、純度が低く、価値も劣るという意味に広がります。「難」の左は「火矢」の絵からできた形で、それで「鳥」を狙うということです。火矢が鳥を悩ませ、驚かすことになります。鳥にとっては「難儀（なんぎ）なこと」＝「困ったこと」です。

「雌雄」も、もともとは鳥の「オス」と「メス」のことを表していました。哺乳類は「牝牡」で表していました。きりがないので終わります。